

# 奨励賞

所在地：神奈川県川崎市

病床数：1,208床

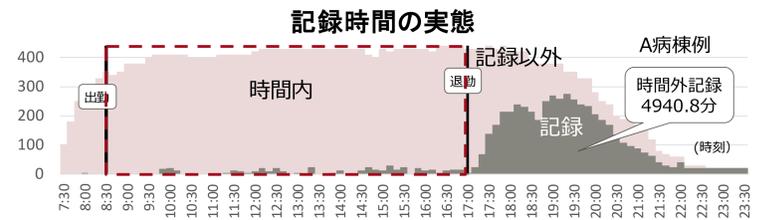
従業員数：2,440人（うち看護職員数1,143人）

入院基本料看護配置：特定機能病院一般病棟7対1入院基本料

## 聖マリアンナ医科大学病院 ナースハッピープロジェクト(NHP) ～音声入力による記録時間の削減～

### 取組の きっかけ

- 2022年度の新病院開院を控え、看護職員の適切な人員配置や看護業務の役割委譲が課題であった
- 単に業務を改善し医療の質を向上させ、患者の幸福を追求するだけでなく、職員の幸福の追求もあるべき姿と考え、「看護師がハッピーに、やりがいを感じられる職場を！」を目的に掲げ、NHP（Nurse Happy Project）として「業務効率の徹底追及と無駄の排除」を行うこととした
- 看護業務の効率化に向けては、記録時間の削減が課題であると職員の主観としてあったが、業務量調査の結果からも同様のことが明らかとなった（右図）
- AI・ICTの活用が看護記録を勤務時間内に移行する手段の一つと考え、音声入力に着目した



### 主な 取組内容

- 音声入力システムの導入病棟の選定
  - AI・ICTに精通している師長が管理している病棟をモデル病棟として選定し、その後院内に広めていくことにした
- 病棟での取り組み
  - 副師長を中心に、スマートフォンの活用が上手な看護師から広めていった
  - 音声入力への抵抗感や苦手意識のある看護師へはOJTを通して広めていった
  - 付き添い歩行患者のトイレ待ち時間や、患者搬送のエレベーター待ち時間等の隙間時間に、音声入力を活用することで、記録できるようになった

#### <音声入力のタイミング>

- トイレ付き添いの待ち時間
- エレベーターの待ち時間
- 病室間の移動時間
- ナースコール対応～訪室までの移動時間
- 転棟から戻る際の移動時間

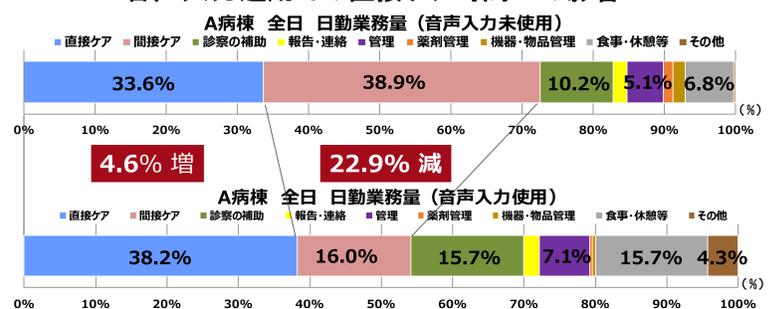
#### <音声入力の活用方法例>

- ケア時の皮膚観察状態をその場で入力
- 食事介助の合間に摂取状況をその場で入力
- ストーマ交換時、ストーマサイズや装具品番名をメモ代わりに入力
- 患者情報収集時、手書きメモ代わりに音声入力でもメモを記載

### 取組の 成果と効果

- 記録入力スピードの向上：  
60文字/分（タイピング）→270文字/分（音声入力）  
▶約4.5倍の速度向上
- 業務時間内記録が平均21.5分→平均43.5分に増加し、  
時間外記録が平均92.2分→平均59.2分に減少した
- 一人あたり月平均時間外勤務時間の削減：  
21.86時間（2018年3月）→10.92時間（2019年3月）
- 直接ケア時間の増加  
直接ケア時間は4.6%増加し、間接ケアが22.9%減少した

#### 音声入力運用での直接ケア時間への影響



#### 看護師の声

- ベッドサイドでケアを行う時間が増え、患者の抑制解除が可能になるなど、患者ケアに時間を活用できるようになった
- リアルタイムな記録が可能になり、記録業務にかかる時間の削減や記録漏れが減る等、より正確な記録が可能になった

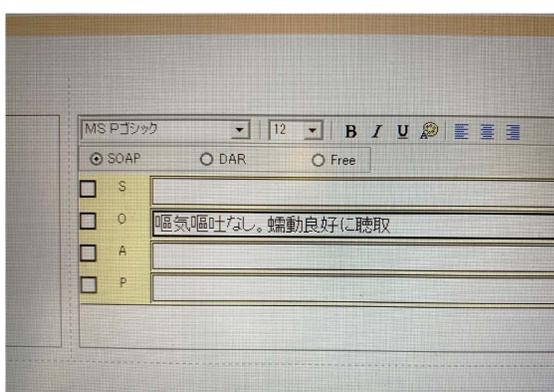
#### <音声入力の方法>



スマートフォンに喋りかけることで入力



機械学習により変換精度は日々向上



スマートフォンと電子カルテは無線通信でペアリングされているため、瞬時に電子カルテに送信可能



病院外観